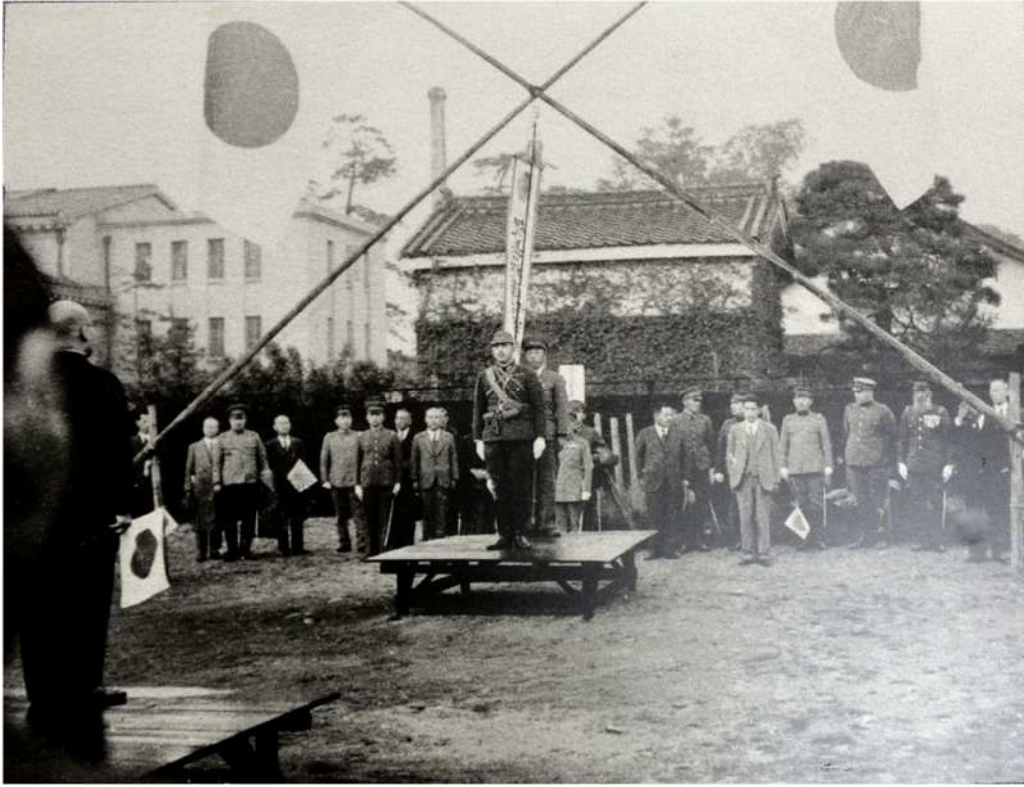
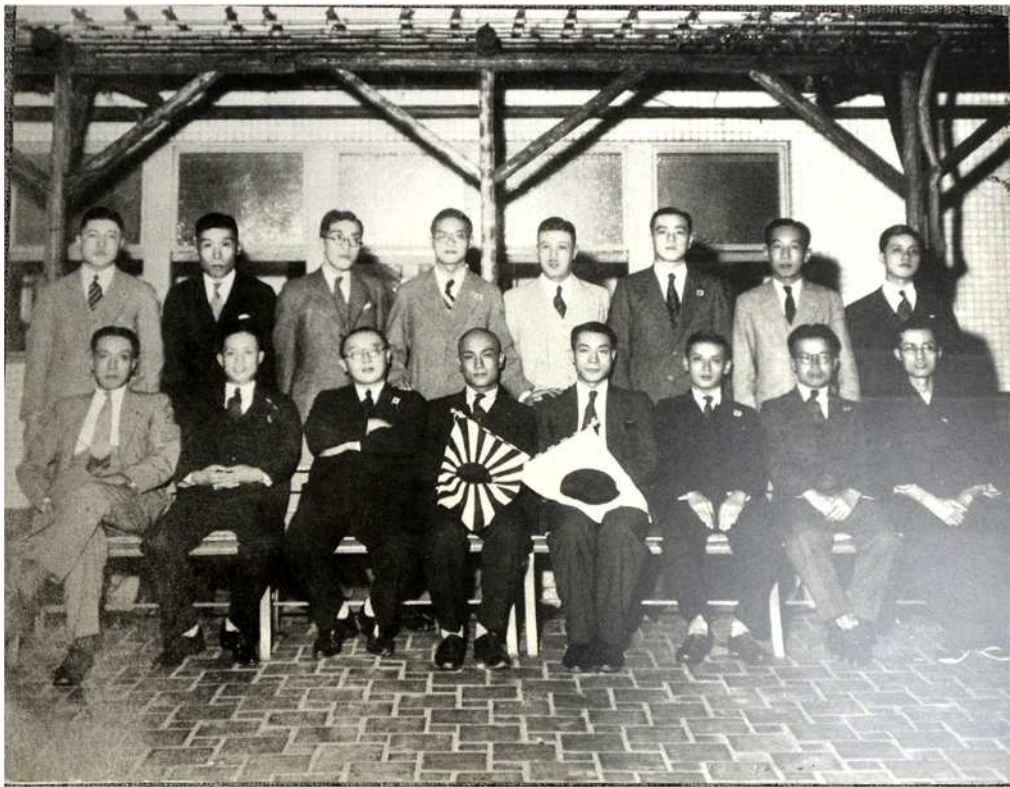


B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

市役所前しゅつせいしきで出征式



解 説

出征送別しゅつせいそうべつ：昭和12年（1937年）初秋

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

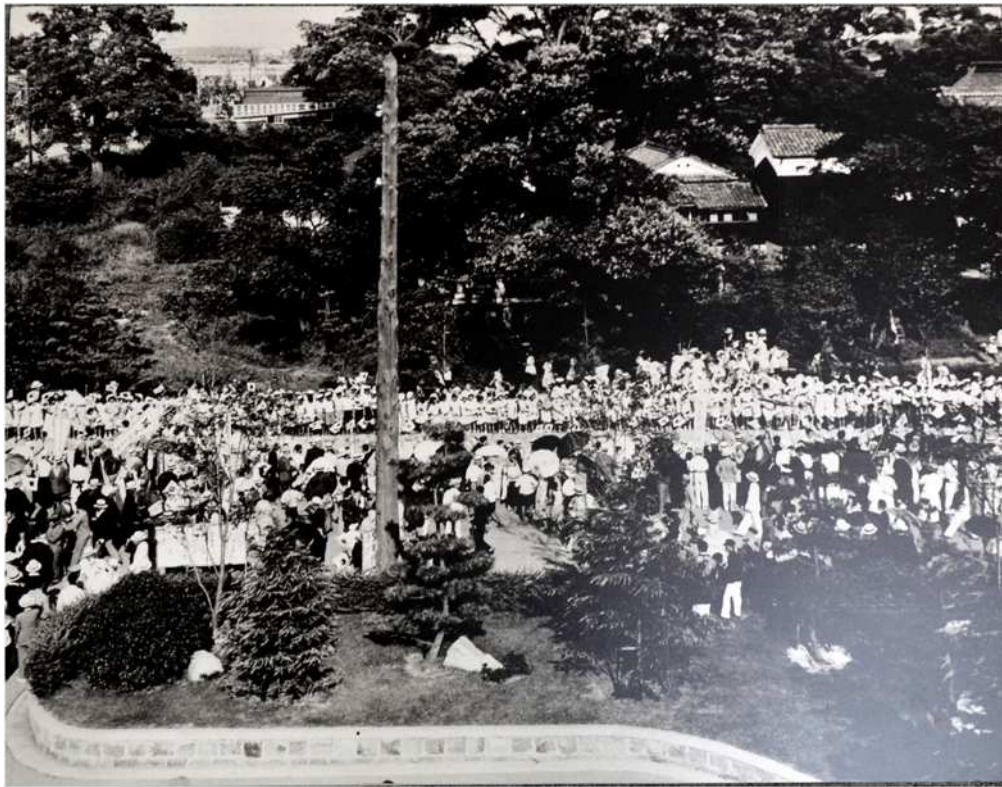
おうしょう
応召の会：昭和14年（1939年）



解 説

医大生だった一番上の兄(前列左)が軍医として出征する
当日の朝：昭和19年（1944年）

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

ぐんじんかんそうふうけい
軍人歓送風景



解 説

かんたい ぐんたいかんげいふうけい
阪神西宮駅での艦隊・軍隊歓迎風景

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

にゆうえい
入営するとき



解 説

しゅつせい
出征記念写真、にゆうえい
入営記念写真

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



武運長久祈願祭

日本では歴史的に「戦いでの勝敗の運(武運)、それが長く続くこと(長久)」を、神仏などに祈念する風習がありました。明治以降になり、日本の大陸侵攻が本格化する日清・日露戦争の頃から、各地で出征兵士の武運長久・安泰のため、神社での祈願祭や千人針を贈る民間信仰などが行われました。

この写真は、昭和16年(1941年)に明石神社(兵庫県)で、「出征者武運長久祈願祭」を催した、明石市上ノ丸町の遺家族を撮影したものです。

解説

*千人針

一片の布に千人の女性が赤糸で一針ずつ縫って千個の縫玉を作り、出征兵士の武運長久・安泰を祈願して送ったもの

*遺家族

戦没者の遺族

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

父母のいる故郷に向かってあいさつ (学童疎開^{がくどうそかい})

昭和20年(1945年)に、6校97学級6,010人が岡山県下へ^{そかい}集団疎開。
鳴尾村の3校の学童も兵庫県下へ。



解 説

夕げ支度のお手伝い (学童疎開^{がくどうそかい})

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

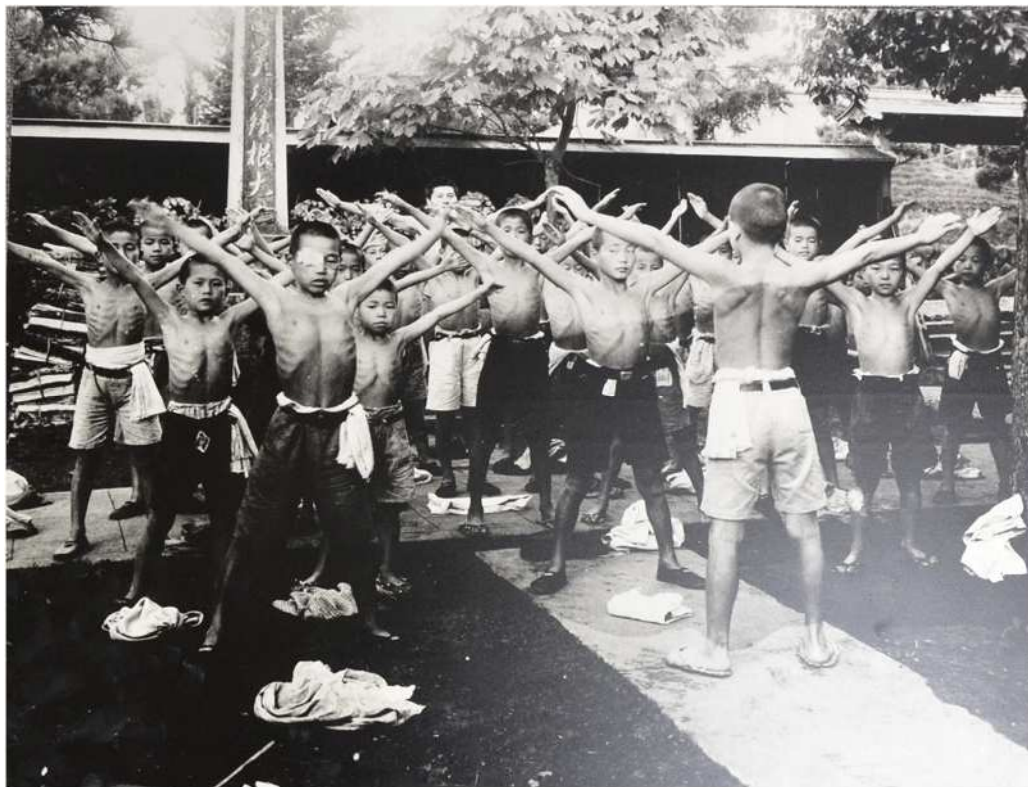
食料を運搬(学童疎開)
うんぱん がくどうそかい



解 説

食事風景 (学童疎開)
がくどうそかい

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

みんなで体操 がくどうそかい (学童疎開)



解 説

しゅくがわこうえん まつしたちょう
夙川公園で松下町の運動会：昭和18年（1943年）の夏

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

かわにしこうくうきなる おせいさくしよ 飛くと きんろどういん
川西航空機鳴尾製作所の学徒勤労働員：昭和19年（1944年）
せんとうぼう きんろどういん
戦闘帽と勤労働員を示す胸章がないと、工場に入ることができなかった。



解 説

きんろどういん
勤労働員

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

にしのみやこうとうじょがっこう ていしんほうしだい
西宮高等女学校の挺身奉仕隊

昭和18年(1943年)から、職域しよくいきなどを単位に、未婚女性による勤労挺身隊きんろうていしんたいを結成。
昭和19年(1944年)には、対象が12歳から40歳までに拡大された。



解 説

にしのみやこうとうじょがっこう
西宮高等女学校の運動会

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



防火訓練：昭和18年（1943年）

解 説

この写真は、昭和18年（1943年）に松下町の^{まつしたちょう しゅくがわていぼう}夙川堤防付近で、^{くうしゅう そな}空襲に備えて行った^{ふじんかい}婦人会によるバケツリレーの様子を^{きつえい}撮影したものです。



解 説

^{こくほうふじんかい}
国防婦人会

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

かわにしこうくうきなるおせいさくしよ りょう
川西航空機鳴尾製作所の男子寮：昭和17年（1942年）ごろ



解 説

ししゅさい きげん けいろう
市主催の紀元2600年記念の敬老行事：昭和15年（1940年）
せんいこうよう ぜっこう せいだい かいさい
戦意高揚の絶好の機会とされ、全国的に盛大な記念式典行事が開催された。

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



瓦木小学校での宮城遙拝の様子

昭和12年(1937年)に勃発した日中戦争の拡大で、政府は「きよこくいつち 挙国一致、じんちゅうほうこく 尽忠報国、けんになんじきゅう 堅忍持久」をスローガンに、国民の戦意高揚と戦争協力体制を強化するため、国民精神総動員運動を展開しました。そして毎月全国一斉に諸行事が催され、その1つが「宮城(皇居)に向かって敬礼をする行為」(宮城遙拝)でした。しかし、この遙拝を宗教的行事として拒否した宗教団体は弾圧され、関係者が投獄されることもありました。

解説

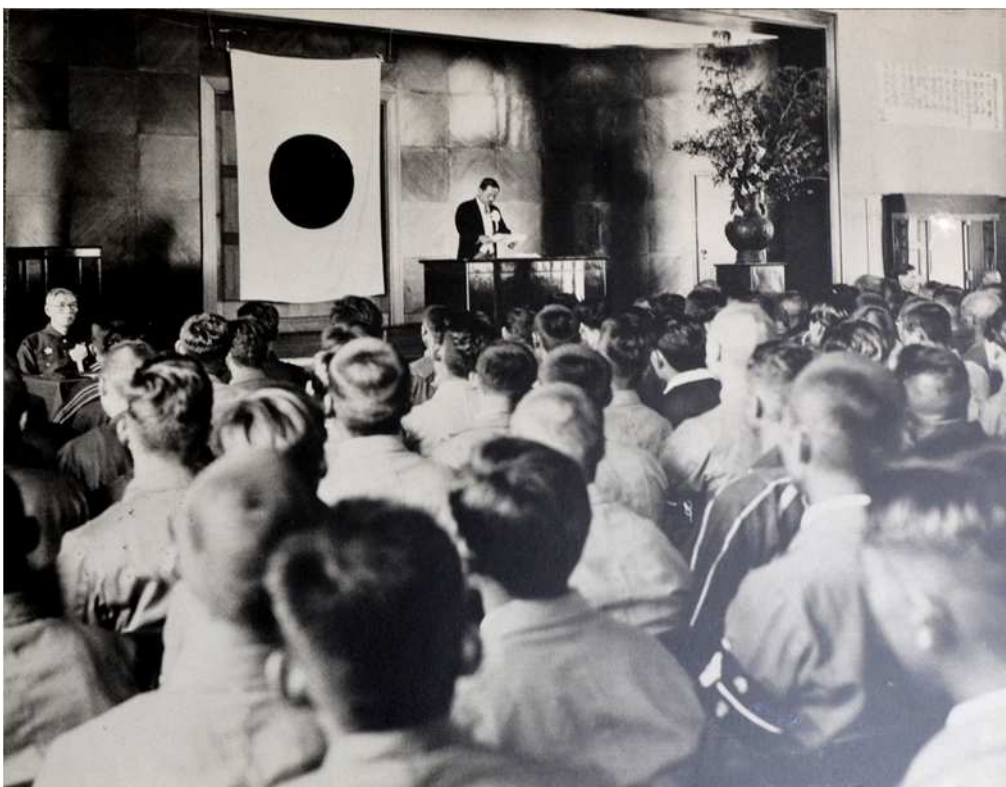
- * 挙国一致 国民全体が一致して同じ態度をとること
- * 尽忠報国 忠義をつくして国家のために力を尽くすこと
- * 堅忍持久 がまん 我慢強く た 堪え しの 忍んで ひさ 久しく持ちこたえること

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

せんじかせんいこうようたいかい こうえんかい
戦時下戦意高揚大会・講演会：昭和14年（1939年）7月



解 説

にしのみやけいぼうだんけつだんしき
西宮警防団結団式：昭和14年（1939年）7月
はまわき きよこう
浜脇小学校講堂で举行され、松尾市長があいさつ。

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

ひろたじんじゃ けいぼうだんだんきじゅよしき
広田神社で警防団団旗授与式：昭和14年（1939年）8月



解 説

はいきゅう を行う 県の しょくりょうだん
米の配給を行う県の食料営団西宮支所
現在の阪神西宮駅東口辺りに事務所があったのこと。

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

はまこうしえん こくぼうきかい かんぽん
濱甲子園の国防機械化連盟などの看板



解 説

けんえついん ゆらようさいしれいぶけんえつずみ
軍の検閲印（由良要塞司令部検閲済）が入っている記念写真

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

阪神甲子園駅の北側：昭和17年（1942年）ごろ
馬車が通っていた。



解 説

阪神大水害の写真：昭和13年（1938年）7月

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

阪神大水害の写真：昭和13年（1938年）7月



解 説

こうろえんはま
香櫨園浜：昭和15年（1940年）ごろ

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

こうろえんはま
香櫨園浜：昭和17年（1942年）3月中旬



解 説

こうろえんはま
香櫨園浜：昭和17年（1942年）3月中旬

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

しゅうがわ
夙川周辺：昭和15年（1940年）5月



解 説

しゅうがわ
夙川河口あたりで魚を取っている：昭和15年（1940年）ごろ

B. 出征前・銃後の家族や郷里(写真)



解 説

しゆくがわ
夙川の松林：昭和16年（1941年）



解 説

たけだお
武田尾の川で水遊び：昭和17年（1942年）夏